

健康経営について



大和物流株式会社



私たちの経営ビジョンである「Open up DREAMS」には、独自の強みを活かし新たな価値を創出・提供することで社会に貢献するという姿勢や、変化が続く時代においても常に挑戦し続ける企業でありたいという強い決意を込めています。

このビジョンの実現に向けた基盤となるのは、社員一人ひとり の健康であり、能力を最大限に発揮できる環境です。

私たちは、社員の心身の健康を経営課題と捉え、安全・安心な職場環境づくりと働きやすい組織風土の醸成に取り組んでまいります。

大和物流株式会社 代表取締役社長 杉山 克博

1. 健康投資の実行

従業員の心身の健康を重要な経営資源と捉え、次の健康施策を積極的に実施します。

- ○健康診断と事後措置の徹底
 - ・健康診断の受診率向上、事後措置の実施推進
 - ・要治療者への対応と特定保健指導の促進
- 〇メンタルヘルス対策の強化
 - ・ストレスチェックの実施と活用
 - ・カウンセリングサービスの利用促進
- 〇ワークライフバランスの推進
 - 有給休暇取得の奨励と取得率向上
 - ・長時間労働の抑制、時間外労働時間の管理徹底

2. 投資効果の可視化と検証

健康経営の取り組みを「見える化」し、PDCAを回すための効果測定を行います。

- ・健康診断受診率、ストレスチェック受検率、カウンセリングサービス利用件数などの実施指標
- ・有所見者率、健康年齢の改善などの中間成果指標
- ・アブセンティーイズム、プレゼンティーイズムの減少、ワーク・エンゲージメントの向上などの意識・行動変容指標

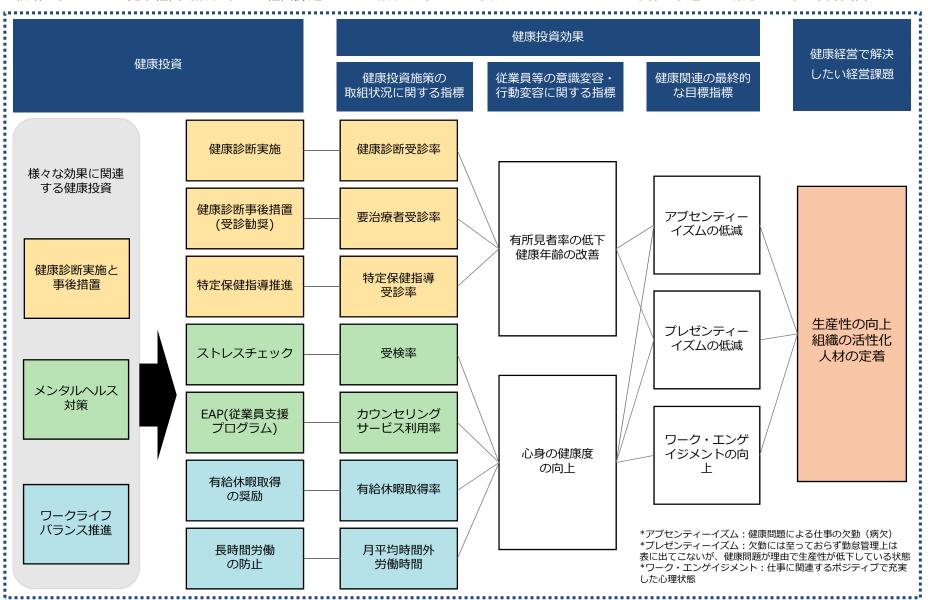
3. 最終的な経営目標の実現

健康投資による従業員の健康度向上により、次の経営課題の解決を図っていきます。

- ・ 牛産性の向 ト
- ・組織の活性化
- ・人材の定着

4. 健康経営を通じた企業価値の向上

単なる福利厚生の枠を超え、健康経営を「経営戦略」の一環として位置づけ、社員の健康が企業の持続的成長につながる 好循環を目指します。 戦略マップ・・・健康経営で解決したい経営課題とそれを解決するための手段がタスクレベルにまで落とし込まれ明記されている計画書

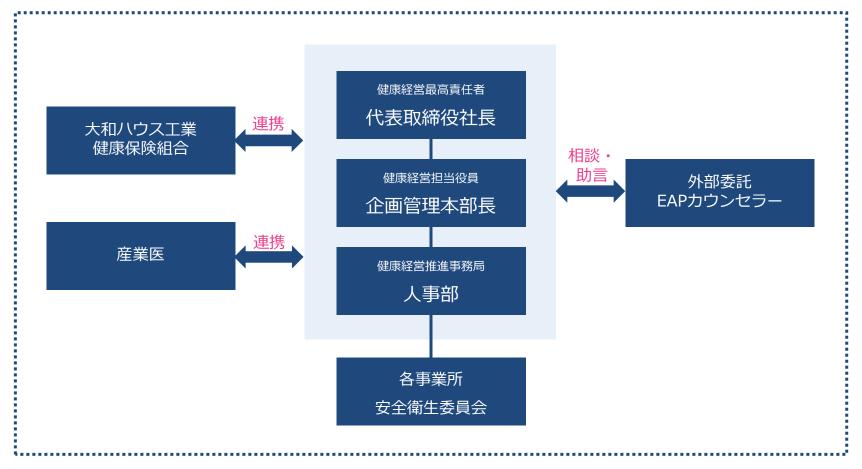


最終的な目標	指標	測定方法	実績		目標値
取小さ ロック 口 / 小			2023	2024	(2028)
アブセンティーイズムの低減	アブセンティーイズム (健康問題による <u>欠勤</u>)	従業員アンケート (ストレスチェック内) 「昨年1年間に自分の病気で何日 仕事を休みましたか」 【WHO-HPQ】	4.6⊟	4.3⊟	4 日以下
プレゼンティーイズムの低減	プレゼンティーイズム (健康問題による <u>出勤時の</u> 生産性低下)	従業員アンケート (ストレスチェック内) 「病気やけががないときに発揮できる仕事の出来を100%として過去4週間の自身の仕事を評価してください」 【東大1項目版】	81.5%	81.1%	85%以上
ワーク・エンゲイジメント向上	ワーク・エンゲイジメント	従業員アンケート (ストレスチェック内) 「仕事をしていると、活力がみな ぎるように感じる」「自分の仕事 に誇りを感じる」 【新職業性ストレス調査票】	2.6点	2.6点	2.8点以上

指標	実績		目標値	目標達成のための施策	
月日	2023	2024	(2028)	口保度成の方とのの方面へ	
健康診断受診率	100%	100%	100%維持	・健康診断受診管理 ・要治療者への受診勧奨と参加状況の把握	
要治療者受診率	100%	100%	100%維持		
特定保健指導受診率	100%	100%	100%維持		
ストレスチェック 受検率	93.8%	98%	100%	・全事業場でのストレスチェック実施と推奨 - ・メンタルヘルスリテラシー向上に向けた教育 ・EAP窓口の社内周知	
カウンセリングサービス 利用率 _※	_	10%	70 %		
有給休暇取得率	62.6%	52.4%	65 %	・有給休暇取得推奨日の設定など取得しやすい 環境づくり ・ノー残業デーの運用 ・業務効率化等による時間外労働の削減	
従業員1人あたり 月平均時間外労働時間	28.32	27.11	22.00		

[※]メンタルヘルス不調による休業者の利用率

経営トップを健康経営推進の最高責任者とし、健康経営推進事務局を中心に 大和ハウス工業健康保険組合や産業医など外部機関とも連携しながら 全社で従業員の健康保持・増進に係る活動を推進していきます。





ありがとうございました。